

市長記者会見報告事項概要

令和2年12月3日(木)午後1時30分～

令和2年12月補正予算案の概要について

1 新型コロナウイルス感染症対策

○PCR検査等受診体制整備事業…10百万円

- ・高齢者や基礎疾患のある方を対象に、希望により無症状の方でもPCR検査等を受診できる体制を、来年の1月から「防府市保健センター」に整備する。
- ・検査料については、国費や市費を差し引き、PCR検査であれば2万500円引きの7,000円、抗原定量検査であれば7,780円引きの3,000円とする。
- ・毎週木曜日午前中、最大30人まで検査可能。

○新型コロナウイルスワクチン接種体制準備事業…12百万円

- ・今後、新型コロナウイルスワクチンの供給が可能となった場合に、速やかに接種を開始できるよう、ワクチン接種に備え、システム改修などを行う。

2 経済活性化対策

○プレミアム付商品券発行事業…68百万円

- ・8月から10月にかけて第1弾を発行し、かなりの効果があったと伺っている。
- ・前回より規模は半分となるが、2月以降の消費の落ち込みが懸念される時期に向けた消費拡大対策として実施する。
- ・利用期間は4月末までの3か月とし、広くPRすることで景気の浮揚にも繋げていきたい。

○ものづくり企業チャレンジ応援事業…20百万円

- ・県の9月補正による「地域経済活動回復支援事業」を活用し、長引くコロナ禍にありながらも、新事業展開や事業拡大をされる市内の中小企業等の方で、新たな雇用を伴う投資をされる場合は、その生産設備の導入に係る費用を、最大200万円補助する。
- ・市の9月補正で計上した、就労の場を失った方を正規労働者として新たに雇用する中小企業者等に対し、1人当たり60万円を支給する制度（新型コロナウイルス離職者雇用事業者奨励金）と併用が可能。

○観光PR動画制作事業…10百万円

- ・来年は毛利元就没後450年や重源上人生誕900年となる節目の年を迎える。
- ・来年度、しっかり売り込んでいくためのツールとして、本市が誇る、防府天満宮、毛利氏庭園、阿弥陀寺、周防国分寺の4つの観光拠点施設の観光プロモーション動画を制作する。
- ・これらの動画を春の観光シーズンからすぐに活用できるよう、補正予算に計上し、年度内に作成する。

3 進学・就学支援対策（12月補正予算計上を伴わない支援）

○防府市奨学資金貸付制度の拡充（条例改正）

- ・補正予算の計上はしていないが、新型コロナウイルス感染症等の影響による経済的な理由により、学生のみなさんが、進学・修学をあきらめることがないように、奨学金制度を拡充する条例改正案を上程している。
- ・現在、月額3万円、定住促進奨学金1万円と併せて月額最大4万円で、市内に3年以上居住することで定住促進奨学金については返還不要としている。

- ・改正後は、月額3万円と月額4万円の選択制とし、定住促進奨学金1万円と合わせると、月額最大5万円となる。
- ・併せて、大学等の入学時に必要なまとまった費用に充てるため、希望される方に対し、奨学金の一部を一時金として、最大48万円まとめて貸し付ける入学一時金を創設する。
- ・また、現在6月に行っている初回の振り込みを4月とし、可能な限り早く貸し付けを行う。
- ・今後も、本市出身の学生が進学や修学をあきらめることがないよう、しっかりと支援していく。

4 ほうふ産米緊急対策

○ほうふ産米次年度生産緊急応援事業…14百万円

- ・トビイロウンカや塩害などの被害を受け、作況指数が過去最低となった。
- ・山口県では、これまで「80」が最低だったが、今年は「73」、そして防府市が属する県西部は「67」となった。
- ・こうした厳しい経営状況となっている水稻農家の方が作付けを諦めることがないよう、県の12月補正による「やまぐち米次年度生産応援事業」を活用し、次期作に向けた主食用米の種子購入費用を全額補助する。

5 デジタル化推進事業

○マイナンバーカード普及推進事業…25百万円

- ・デジタル化が進む中で、まず基礎自治体にできることはマイナンバーカードの普及率を高めることであると考えている。
- ・マイナンバーカード交付室の組織を、12月1日付で専任3名体制から室長を含めた専任6名体制へと強化した。

- ・これに併せて、申請専用窓口の新設や、休日対応の充実、公民館や民間事業所等での出張申請受付を開始する。
- ・休日について、現在、月2回日曜日の午前中に対応しているが、国のシステムが停止する第3日曜日を除いた毎週日曜日の15時まで対応することとしたい。
- ・公民館等での出張申請受付は来年1月から実施したい。
- ・現在、防府市のマイナンバーカード普及率は23%台で、国や県の平均よりは上だが、まだまだ非常に低い水準であるので、これを緊急の課題として、市としても積極的に取り組んでいきたい。

6 その他

○人勸に伴う職員給与費等の減等…▲23百万円

- ・人事院勧告に伴う職員等の給与等の改定や、職員の異動に伴う給与費の増減を加味し、全体で減額となった。

○競輪事業特別会計補正予算…4,438百万円

及び「ふるさと振興基金」への積み立て…100百万円

- ・全国的に競輪事業の売り上げが約10%伸びており、防府競輪においては積極的な取り組みもあって、約20%の伸びを見込んでいる。
- ・このため、競輪事業特別会計の12月補正予算では、払戻金などの競輪事業に要する経費を、4,038百万円、新たな総合計画（案）にも掲げている競輪場施設の整備に充てる基金への積立金を300百万円、一般会計への繰出金を100百万円、計4,438百万円計上している。
- ・平成22年3月に設置した「ふるさと振興基金」は、令和元年度末時点で残高0となっていたが、令和2年度に入り、作曲家の鈴木淳様、作詞家の悠木圭子様ご夫妻から10百万円のご寄付をいただき、これを全額積み立

てていた。

- ・これに加え、今回、競輪事業からの繰入金100百万円を積み立てて110百万円とし、先程、経済活性化対策でご説明した「プレミアム付商品券発行事業」と「観光PR動画制作事業」の財源として78百万円を取り崩すこととしたため、現時点では令和2年度末の残高が32百万円となる見込みとなった。

○債務負担行為の追加…210百万円

- ・11月末に土木関係の部署が山口県の防府総合庁舎へ移転した。
- ・来年度早々に着手する現庁舎の一部解体工事が円滑に進むよう、債務負担行為を設定する。

○一般会計補正予算の財源

- ・今回の補正予算の財源は、国や県の支出金や、ふるさと振興基金からの繰入金、市内の方からの寄付金、PCR検査等の自己負担金で対応した。

7 まとめ

- ・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、今後も対策が必要なものについては、3月補正や令和3年度当初予算で措置させていただきたい。
- ・農業への影響についてももしっかり状況を確認し、必要に応じて対策を講じていきたいと思っている。